

令和2年、社会連携・産学連携を推進する
新しい組織が誕生しました。

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構

Organization for Research and Community Cooperation

生活科学研究所

・

女性未来研究所

・

生涯学習センター

・

地域連携推進センター

・

ヒューマンライフ支援センター



機構長
山本 和人

YAMAMOTO Kazuhito 東京家政大学・東京家政大学短期大学部
学長、本学人文学部 教育福祉学科教授。本学人文学部長、図書館長、
地域連携推進センター所長、生涯学習センター所長、ヒューマン
ライフ支援センター所長を歴任。専門/社会教育・生涯学習

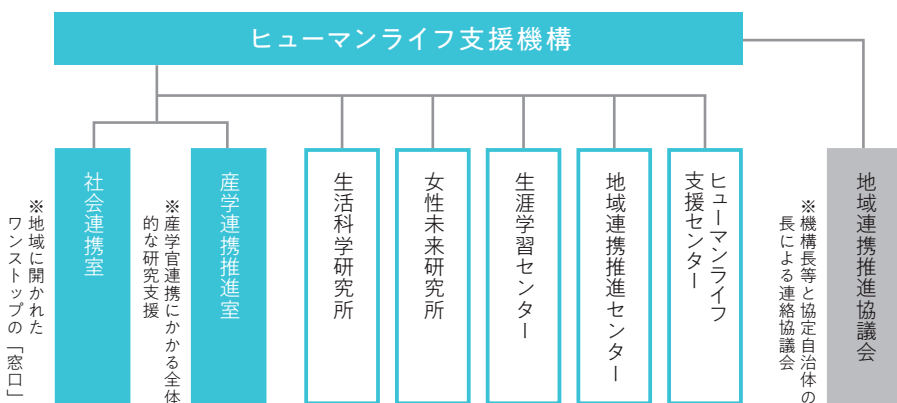
地域と学生、大学の連携・協働と「ひとの生(Life)」 ヒューマンライフ支援機構がスタートします！

東京家政大学は1881(明治14)年に創設以来、
まもなく140周年を迎えようとしています。

この間、本学の教育・研究の成果を「ひとの生(Life)を支える学」として
広く社会に発信し、地域の課題解決に向けた取組を行政、企業、NPO等と
協働してすすめてまいりました。

ヒューマンライフ支援機構は、これまでの本学の取組を基盤に
地域と学生、大学を結ぶワンストップセンターとして、
地域連携・産学連携の拠点として新たに構想、開設いたしました。
どうかご期待ください。

組織図



社会連携室

大学と連携したいが、どこに連絡をすればよいかわからないとよく聞きます。社会連携室は行政、企業、NPOなど本学との連携を希望される方々が気軽に相談できる「窓口」となります。板橋・狭山キャンパスで2名の教員がコーディネーターとして対応いたします。



社会連携室長(板橋キャンパス) 内野 美恵

本学の専門である「ひとの生(Life)を支える学び」は、社会の多種多様な分野と連携することが可能です。本学学生の勤勉で若くしなやかな発想力は、これまでの産学官連携事業において、多くの成果を上げています。

UCHINO Mie 本学ヒューマンライフ支援センター専門員(准教授)、東京都食育推進協議会委員、日本パラリンピック委員会医科学情報サポートスタッフ、博士(学術)、管理栄養士

Contact | TEL: 03-3961-5274 E-mail: uchino@tokyo-kasei.ac.jp



社会連携室長(狭山キャンパス) 保坂 遊

一時期、閉校していた狭山キャンパスも、2014年新学部立ち上げにより、息を吹き返し、近隣地域の皆様との連携も芽生えつつあります。高等教育機関の資源を社会創生のためにご活用いただけるよう窓口の役目を果たして参ります。

HOSAKA Yu 本学子ども学部子ども支援学科教授、修士(社会福祉学)、臨床美術学会理事。研究テーマ/社会-教育-医療を包括する美術の社会的意義

Contact | TEL: 04-2955-6959 E-mail: hosaka-y@tokyo-kasei.ac.jp

産学連携推進室

本学は食べること、着ること、健康であることなど、人々の生活にかかわる多様な研究を行っています。産学連携推進室は大学のシーズと行政や企業等のニーズをマッチングし、社会実装(社会の役に立つ)を目指し、産官学の連携による共同・受託研究を活発化します。



産学連携推進室 産学連携ディレクター 藤本 浩

産学連携推進室では、企業との共同研究、受託研究等を通じて家政大-産業界の連携を推進しています。私は食品企業における研究者として、また、国立研究機関での産学連携・知財管理の経験が豊富です。お気軽にご相談ください。

FUJIMOTO Hiroshi 国立研究開発法人理化学研究所、産業連携部バトンゾーン研究推進課副主幹、一級知的財産管理技能士(特許専門事務)

Contact | TEL: 03-3961-5537 E-mail: sangaku-D@tokyo-kasei.ac.jp

各研究所・センターの紹介

生活科学研究所

地域に開かれた
生活科学の教育・研究の場



幻の白藤米の復活と酒の仕込み（酒造会社との連携）

昭和23年の設立以来、幅広い分野にわたる学際的な生活科学研究を推進し、行政や企業との共同研究など産学連携をすすめています。高校生による全国研究コンクールや各種講演会、食育活動など広く本学の教育・研究の成果を発信しています。

Contact

TEL: 03-3961-2502
E-mail: rids@tokyo-kasei.ac.jp
URL: www.tokyo-kasei.ac.jp/research/rids/index.html

女性未来研究所

女性100年、
過去から未来へ

建学の精神である「自主自律」の道を歩み、生活信条である「愛情・勤勉・聡明」のもと、未来を創造する女性を支援しようと「つなぐ」「究める」「ひろげる」「提言する」をキーワードに活発な調査研究と活動を行っています。SDGsの目標を共有し、コミュニティの課題解決に参画する「女性」を探究しています。



樋口恵子名誉所長の記念講演

Contact

TEL: 03-3961-5305
E-mail: josei-mirai@tokyo-kasei.ac.jp
URL: www.tokyo-kasei.ac.jp/research/woman/index.html

生涯学習センター

生涯にわたって
いつでも学べる大学へ



講座「小児救急救護法チャイルドケアプラス」

本学の特色を生かし、子育て、食、健康・福祉など生活にかかわる身近で多彩な公開講座を地元自治体等と連携しながら実施しています。現在、人生100年時代を迎え、リカレント教育プログラムの開発をすすめています。

Contact

TEL: 03-3961-5742
E-mail: syogai@tokyo-kasei.ac.jp
URL: www.tokyo-kasei.ac.jp/society/open_college/index.html

地域連携推進センター

地域課題の解決に向けた
地域と大学の協働の拠点

狭山・入間市との連携による「子ども大学」などの教育プログラムや健康・食生活に関する調査研究など、本学の教育・研究をシーズとして多様な事業を展開しています。平成30年には「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」にも参画、多様な大学、自治体、地元企業との協働による地域活性化に取り組んでいます。



「子ども大学さやま・いるま」(小学生のプログラミング体験。先生は本学の学生ボランティア)

Contact

TEL: 04-2955-6959
E-mail: chiiki@tokyo-kasei.ac.jp
URL: www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html

ヒューマンライフ 支援センター

地域のニーズに
学生の学びで応える



学生と北区の製麺会社で開発した家政大オリジナルパスタうどん

「地域のニーズに学生の学びで応える」をモットーに産学官連携事業を展開しています。本学の「知」を活かし、子どもやお年寄りへの支援活動、食育、デザイン・商品開発など、学生にとっても授業とは違う実学の場を創造しています。Human Life Plazaの頭文字をとって愛称はHulip(ヒューリップ)です。

Contact

TEL: 03-3961-5274
E-mail: hulip@tokyo-kasei.ac.jp
URL: www.tokyo-kasei.ac.jp/society/hulip/index.html

主な社会連携・産学連携の歩み

2004 (平成16年)	● 学生と地域の親子で取り組む「食育おもちゃづくり」が農林水産省主催「地域に根ざした食育コンクール」にて「審査員奨励賞」を受賞
2005 (平成17年)	● 東武百貨店池袋店SPICEメニュー開発 (～2014)
2006 (平成18年)	● 東京都北区「高齢者ふれあい食事会」協力 (～継続中)
2007 (平成19年)	● 「白藤プロジェクト」(企業、農家との連携による白藤米の復活)が発足 ● 学生が企画し運営した食育カフェ「茶の間-CHANOMA-」が第3回東京商店街グランプリにて「地域活性化部門 準グランプリ」を受賞
2010 (平成22年)	● 板橋区地域子育て支援拠点事業「森のサロン」スタート ● 東京都板橋区・大学公開講座(連続6回、隔年開講、～継続中)
2011 (平成23年)	● 東京都北区と包括協定を締結 ● 狭山市教育委員会・入間市教育委員会等との連携「子ども大学さやま・いるま」スタート (～継続中)
2012 (平成24年)	● 「白藤プロジェクト」が農林水産大臣賞を受賞 ● 東京家政大学オリジナルピンクリボン※啓発カレンダー制作 (～継続中) ※アメリカから始まった乳がんの早期発見・早期検診・早期治療を促す啓発運動
2014 (平成26年)	● (株)ロフト「カロリーBENTO」レシピ考案 (～2016) ● 初代所長に樋口恵子氏就任
2015 (平成27年)	● 東京都板橋区共催「いたばし(あい)カレッジ」(～2017) ● 北区共催「さんかく大学」(～2017) ● 群馬県共催「とらいあんぐるん大学連携講座」(～2017)
2016 (平成28年)	● 埼玉県狭山市と包括協定を締結 ● 千葉県長南町と包括協定を締結 ● 東京都板橋区と包括協定を締結 ● 入間市と東京家政大学との子育て支援に係る調査研究
2017 (平成29年)	● 東京家政大学×北区×東洋大学「東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクトチーム」協力 (～継続中)
2018 (平成30年)	● 埼玉県入間市と包括協定を締結 ● 玉川食品(株)「コンディショニング麺」開発 (～2019) ● 東京都板橋区・北区共催「子育てママの未来計画」 ● 特別区長会調査研究機構・板橋区提案による自尊感情に着目した育児期女性の支援に関する基礎研究 ● 板橋区環境協働プロジェクト「親子環境学習講座」
2019 (平成31年)(令和元年)	● 「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)包括協定」締結 ● 「東京家政大学ワークライフバランスin農業女子プロジェクト」が発足 ● 農林水産省が支援する農業女子プロジェクトの連携大学となる
2020 (令和2年)	● 学生が企画実施している食育イベント「食リンピック」が農林水産省主催第4回食育活動表彰にて消費・安全局長賞受賞

●生活科学研究所 ●女性未来研究所 ●生涯学習センター
●地域連携推進センター ●ヒューマンライフ支援センター

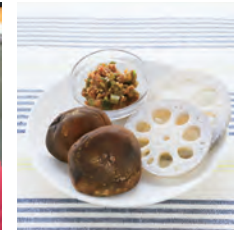
学生が参加したプロジェクト



ワークライフバランス in 農業女子プロジェクト 農林水産省が推進するパートナー校として、女性ならではの新しい発想で事業を企画します



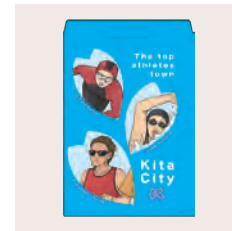
学生がつくるサロンプロジェクト 森のサロンを舞台に、学生がワークショップの企画・実地・冊子制作を行っています



長南町の特産品を使用したレシピ開発 千葉県長南町の特産品を使ったレシピを学生が考案します



コンディショニング麺の開発 北区の製麺会社と、アスリートのように健康で元気に動ける身体づくりに貢献できる麺を開発しました



東京2020オリンピック・パラリンピッククリアファイル 「トップアスリートのまち・北区」をイメージして学生がデザインしました



北区立柳田小学校食育連携事業 掲示物の作成や食育出前授業、児童が描いたイラストでパンダナ制作等を行いました



食リンピック(食育イベント) 家政大学発の「食育」の浸透を目的とした、五感を使った「食」の競技を学生が企画・運営します



入間市共催シンポジウム 「青少年の輝く未来に向けて～未来の主役である子どもたちが元気に育つまちづくり～」に学生が登壇しました



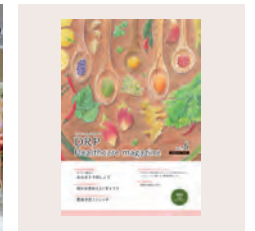
狭山市茶業協会と狭山茶フラッペの開発 学生がオリジナルレシピを考案。入賞レシピは狭山市内飲食店で提供されました



昭和産業グループレシピ開発教育プログラム 企業での勉強会や施設見学等を経てレシピを考案。入賞レシピは卵のパッケージに採用されました



狭山・入間市共催講座-夏休みスポーツ体験教室- 小学校の授業にはない、人気のトランポリン体験などを学生がサポートしました



「DRP Healthcagemagazine」(株)ドクターズプラザが発行している医療機関向け冊子の、表紙とコラムのイラストを学生がデザインしています

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構

Organization for Research and Community Cooperation

173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1

TEL: **03-3961-5537**

E-mail: orcc@tokyo-kasei.ac.jp
